

事業所名： 社会福祉法人 小百合会 児童発達支援センター アグネス園	
アグネス園 支援プログラム	
作成日 2025年10月1日	
営業時間：10：00～16：30	送迎実施の有無： 有り。原則的に拠点式送迎バス。
法人理念	“小さいものにこそ、大事にすべきものがある” “小さいからこそ、できることがある”
支援の方針	こどもの意思の尊重・最善の利益を大切に、丁寧なコミュニケーションを取ることで、こどもとの信頼関係の構築に努めています。表情や行動、仕草で自分自身の意思を表出する機会を多数経験し、自分で選択出来る力を養います。自分で選択する経験を積み重ねながら、将来“自分らしい”人生を送るための土台作りを目指しています。
対象児	2～4歳児クラス・5歳児クラス
本人支援	健康・生活
	・毎日の通園を通して生活リズムを整え、安心できる環境の中で必要に応じた介助のもと食事、排泄、着脱等、身の回りのことに繰り返し取り組み経験を積んでいます。 ・個に応じた食形態(アレルギー食、刻み、ペースト等)を実施しています。一人一人のこどもに食べやすい環境や食べ方、食器に配慮し、保育士がモデルになりながら食への興味、関心を広げていきます。 ・歯ブラスタイムを大切に、一人一人の口腔管理に努めています。
	視診、身体測定、衣装変身ごっこ、歌を用いた手洗い指導、生活リズム作り（慣らし保育や登園の促し）、流れに沿った生活動作の提示と介助、外遊びによる体力作り等
	運動・感覚
	・どんな感覚が好きか、どんな感覚が苦手か個々が持つ感覚特性を探るところから始めています。こどもの意向や発達の段階に合わせ、集団、個別でサーキットや大型トランポリン等の粗大運動、紐通しやシール貼りといった微細運動、小豆や寒天等を使った感覚遊びまで、活動の中で保育士や友だちと楽しみながら様々な感覚に触れていきます。 ・楽器を使い音の大小や力の加減などを経験したり、スヌーズレンルームを活用して静と動、緊張と弛緩を意識した活動プログラムを組み立てています。
	粗大運動：サーキット、バランスボール、鉄棒、トンネル、トランポリン、ダンス、鬼ごっこ、 微細運動：紐通し、製作（紙ちぎり、ハサミ、クレヨン、糊）、絵の具、運筆、クリップ、チャック 感覚遊び：砂、粘土、スライム、寒天、小豆、紙、プール（夏期）、楽器遊び、手形スタンプ等
	認知・行動
	・予告と振り返りを大切にしています。予告があることで、見通しを持ち安心感を持って活動に取り組めるようにします。活動の中で、様々な素材や色、形に触れるだけでなく、表情と気持ちのマッチング等も行っていきます。日々の生活の中で、25%ルールを大切に褒めることで、好ましい行動の定着を目指します。 自分のマーク、マッチング（形、色、物、数字、文字、表情など）声の大きさ、カードを使ったスケジュール提示、リトミックの即時反応、ルールのある遊び
言語コミュニケーション	言語コミュニケーション
	・リトミックセラピーやワークショップなどを通して、個々の表出のきっかけを見出し、言語にとられないコミュニケーションを経験しながら“伝えたい”気持ちを育んでいきます。 ・毎月(季節の歌等)や手遊び歌、読み聞かせなどで、繰り返しの言葉や思わず口に出したくなるような言葉に触れ発語へと繋げていきます。また言葉と共にマカトンサインを活用する事で、言葉の表出を促しコミュニケーション能力の向上に繋げていきます。 ・お店屋さんごっこ等、友だちとのやり取りが生まれる環境を設定し、言葉や物のやり取り等、他者との関わり方を体験します。 リトミックセラピー、ワークショップ、お店屋さんごっこなどのごっこ遊び等
人間関係社会性	
・挨拶やお礼、何かをして欲しい時の伝え方等、日々の生活の中で保育士がモデルとなり、心地よい関わり方や他者との距離感を知らせていきます。また職員との信頼関係の下、小集団の中で順番や交代等社会生活で必要となるルールについても経験していきます。 ・作品紹介(製作物など)を通して、素敵などころを伝えあったり、認められている、受け入れられている経験をする事で、自分や他者を思いやる気持ちを育んでいきます。 ・午後の自由遊びではクラスの垣根をなくし、他クラスの友だちや保育士との関わりが生まれるようにすることで人間関係への広がりを持たせていきます。	

		朝の会、帰りの会（挨拶、呼名等）、設定活動、自由遊び（玩具のやり取り）、合同集会等
地域支援・地域連携	・芸術文化活動等、保護者だけでなく、祖父母やきょうだい児の参加機会を設け、利用者やその家族が友人、仲間作りや社会の一員としての感覚を持てるような環境づくりを目指しています。 ・平塚七夕祭りや福祉展への作品出展、ボランティア活動の受け入れ、施設見学会など、地域に開かれた施設運営を目指しています。また合同集会の公開(保護者や他事業所へ)や自立支援協議会の運営を行い、地域の福祉事業所との連携を図っています。	
移行支援	・地域の支援機関や学校、保育所だけでなく、地域イベントや社会資源など、利用者とその家族が地域社会との繋がりを持つ機会や情報提供を行っています。 ・併行通園児に関しては関係機関と連携し地域に繋がる支援を展開していきます。 ・就学時には、教育委員会と連携し各機関との面談や（行動観察をもとにした引継ぎ等）、支援シートの作成まで各地域の小学校や支援学校への引継ぎを丁寧に行うことで切れ目のない支援に努めています。	
家族支援	・定期的にクラス懇談会を開催し、家族同士が交流を持てる場を設けています。日々の困り感や疑問を抽出し、相互に支え合う機会を提供しています。また保護者の希望に応じて随時、面談(家庭訪問、施設面談、ZOOM面談)や連絡帳、電話等で相談支援を行っています。 ・心理士による発達検査や面談の実施、育児・発達相談の機会としてペアレントトレーニングなども開催しこどもの特性理解を促したり福祉サービスや就学に関する情報提供を行っています。 ・令和7年度からは平塚市主催のペアレントメンター養成講座の講師派遣を行い、卒園児保護者が地域のメンターさんと交流する機会に繋がっていきます。	
職員の質の向上	・権利擁護、感染症、安全管理、災害や感染症発生時の業務継続等、に関する研修等に参加し研修報告書をもって全職員と情報の共有を図っています。 ・自己評価と保護者評価、第三者評価などに取り組み、職員の質のみならず園全体の改善に努めています。 ・身体拘束適正化委員会、虐待防止委員会を設置し、虐待防止に関する意識調査や実態調査及び把握に努めています。	
主な行事	* 入園式（4月） * 家庭訪問（5月・随時） * クラス懇談会（1～2か月に1回程度） * 保育参観（6月・随時） * 年長児お泊り保育（8月） * 親子散歩（10月） * 運動会（11月） * 作品展、劇遊び（2月）	* 年長児お別れ遠足、卒園式(3月) * 合同集会 6月、7月、9月、10月、12月、1月、3月 * 健康診断 小児科(年2回)、眼科、歯科、耳鼻科



<1日の流れ>

10:00 順次登園（園バス・自転車等）
各支援室にて朝の支度
（カバンから荷物を出します）
排泄・オムツ交換
自由遊び
10:40 朝の会
水分補給
11:00 活動プログラム①
排泄・水分補給
11:25 活動プログラム②
排泄・手洗い

11:50 給食
歯磨きタイム・排泄・着替えなど
自由遊び
13:40 帰りの会
14:00 降園